

集い・交わり・語らい・楽しむコミュニティゾーン

伯耆しあわせの郷だより

【発行】 伯耆しあわせの郷 ☎ 26 - 5581 <http://www.shiawasenosato.jp>
 指定管理者 旭ビル管理株式会社



この季節に雪が!?

「今年も多数の受講者で出発しました」
 今年も暑い夏に向かって、はじめとした季節がやってまいりました。皆さま体調には十分ご注意のうえ過ごされますようお願いいたします。

さて、各教室は順調にスタートしました。4月開講時の定員は981名に対し、お申込みいただいた方は847名で充足率は86.3%と近年では最高の数字になりました。4月の延べ教室受講者人数も1,800名を超えて受講いただきました。また、しだれ桜の里づくりや「倉吉餅展覧会 in ロシア」の準備も本格的になってまいりました。

当施設の主な事業である教室開催、施設貸出業務、屋内外の環境整備などで、ご指摘いただいたそれぞれの課題を解決しながら、より良い伯耆しあわせの郷なるよう常に成長していけたらと思います。

受講生募集

※申し込みは、6月1日（水）から先着順にて受け付け、定員になりしだい締め切ります。
 ※各教室とも、受講料のほかに材料費などが必要です。

教室名・講師	日時	回数	定員	受講料
Café 風ごはんでlunch! 「米粉でフルーツガレット他」 管理栄養士 小田 秀さん	6月11日（土） 10:00~13:00	1回	24名	550円
男性のための料理教室 「豆腐ハンバーグ他」 管理栄養士 徳重 安枝さん	7月 1日（金） 10:00~13:00	1回	20名	550円

6月の休館日



6 JUN	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29

7月開講教室受講生募集

◎申し込みは、6月1日(水)から先着順に受け付け、定員になり次第締め切ります。

教室名・内容	日時	期間・回数	定員	講師	受講料
レザークラフト教室 ☆革の裁断から仕上げまで作品づくりの基礎を学びます	毎週火曜日 午前10時～12時	7月～9月 (10回)	18名	 西村 都紀世さん	5,500円
料理教室 ☆現役の調理師さんからプロの技を学びます	月2回火曜日 午前10時～午後1時	7月～9月 (6回)	36名	 鳥取県調理師 連合会	3,300円

- 受講料は初回全納です。納入された受講料は原則として返金しません。
- 各教室とも、受講料の他に材料費が必要です。
- 教室は一部変更または中止になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 託児を希望される場合は、教室申し込みのときにご相談ください。
(お子様1人につき、1回200円ご負担いただきます。)

大会結果

第24回伯耆しあわせの郷ゲートボール大会

・4月30日(土)開催 ・参加チーム数:10チーム(50名)

優勝した小鴨チーム

◇暑さを感じる程の晴天に恵まれた中、参加10チームによる戦いは、さらにヒートアップ、上位4チームが3勝1敗で並ぶという大激戦の大会となりました。結果、得失点差での決着(2位、3位は得失点差でも並び総得点での順位)となり、小鴨チームが優勝を飾りました。

おめでとうございます。

※思わぬ優勝という結果にびっくりしています。うれしいです。

※ 成績 ※

【優勝】	小鴨チーム	3勝1敗(得失点差+25)
【準優勝】	関金・さくらチーム	3勝1敗(得失点差+11)
【第3位】	小田チーム	3勝1敗(得失点差+11)
【第4位】	北栄・はまゆうチーム	3勝1敗(得失点差+10)



パッチワーク教室作品展開催

期間 6月11日(土)～7月3日(日)
 場所 伯耆しあわせの郷 展示ホール

伯耆しあわせの郷
パッチワーク教室作品展
 会期/6月11日(土) ▶ 7月3日(日)
 会場 伯耆しあわせの郷展示ホール
 開館時間 午前9時～午後8時(月曜休館)

教室の生徒の皆さんの、個性あふれる作品の数々を展示します、是非ご覧下さい。



私のパーステー
 パーステーパーステー365
 日頃の中、自分の部屋
 日々作りました。パース
 テーの作り方を教わりました
 こと。

【お問い合わせ】
 伯耆しあわせの郷
 電話 0858-26-5581

パッチワーク教室3クラス開催中

初級 隔週木曜日
 午後1時～4時
 パッチワークの基本を学びます。ピンクッションから始まり、クッション、玄関マット、10点ほど作ります。

中級 隔週木曜日
 午後1時～4時
 パターンの製図、配色を学び、最後は220cm×180cmサイズのタペストリーに仕上げます。

上級 月1回水曜日
 午後1時～4時
 今までに学んだことを応用しオリジナル作品を意欲的に作成していきます。

講師 岩本裕美子

キルトの魅力は同じデザインでもいろいろな布の配色・柄のバランス・センス等でそれぞれ個性溢れる作品になり、とても興味深くおもしろいところです。1年に1度の作品展で手作りの温かみを感じていただけたら幸いです。

教室紹介

レザークラフト教室



1期 4月～6月
 2期 7月～9月
 3期 10月～12月
 4期 1月～3月

毎週火曜日 午前10時～正午
 講師 西村 都紀世さん

募集期間
 3ヶ月各10回

教室の中に革をスタンピングする音が響き渡り、受講生の皆さんが、各自それぞれの作品を制作されています。この教室では、革の裁断から仕上げまで、作品づくりの基礎を学び、世界で唯一の作品を作る喜びを感じることができます。先生は「カービング(革彫刻)の基礎をしっかりと教えて、教室を卒業した後も、1人で、家庭でも製作できるように指導します。」とおっしゃっていました。

受講者の声

○基礎をきっちり指導していただき、感謝しています。教室のみんなは、和気あいあいとやっています。○初心者で始めて10か月位です。4個の作品を作ることが出来ました。作品が出来上がるのがとても嬉しく、実生活でも使用しています。

煎茶教室が野点・春の茶会を行いました。

4月15日に煎茶教室の皆さんが、三朝町西小鹿にて野点を行いました。



心地よい風が吹き、花桃の満開の下で久しぶりの野点は、一煎のお煎茶もまた格別の味わいでした。自然の中のお稽古もまた楽しいものがあり、今後いろいろな形でのお稽古、お茶会を楽しみたいと思います。

5月6日に市内「織物工房 くらよし緋」で、春の茶会を行いました。



会場では、観光客、会場のスタッフの方々に煎茶を楽しんでいただきました。受講生にとって初めての会場でしたので慣れないこともありましたが、森先生の指導により、心を込めてお点前を披露することが出来ました。

参加募集!! しだれ桜の育成作業ボランティア

倉吉の新名所づくりにご協力ください!

作業日時：6月11日(土)

AM9:30~ 2時間程度

作業内容：お礼肥え、剪定他



しだれ桜の育成作業
ボランティア募集!

倉吉の新名所づくりをお手伝いください

●日 時:平成 28年6月11日(土)9:30~(少雨決行)
●場 所:白鹿しおむけの郷(倉吉市小田 468)
●作業内容:しだれ桜のお礼肥え、剪定等の育成作業
●持ち物:軍手、帽子、作業の必要服装
●その他:作業終了後、登壇を準備しますので、ご協力いただける方
は白鹿しおむけの郷 0858-5588までご連絡ください。

●ボランティア作業終了後に昼食を用意いたしますので準備の都合上ご参加いただける方は到着しあわせの郷まで、事前にお申し込みください。

TEL 0858-26-5581

今年も中村武さんが最優秀賞獲得

—しだれ桜の里まつり写真コンテスト—

第2回目となる「しだれ桜の里まつり」写真コンテストは総出展数85点の中から最優秀賞(賞金2万円)他が選ばれました。受賞者は以下のとおりです。(敬称略) ▼最優秀賞 中村武(倉吉市) ▼優秀賞 森本すま子(倉吉市) ▼入選 福井久夫(倉吉市) 田中義正(米子市) 井上英明(北栄町) 徳永和世(倉吉市) ▼佳作 河崎一人(琴浦町) 海地謙一(倉吉市) 田中作治(鳥取市) 牧野和則(倉吉市) ▼会長特別賞中村武(倉吉市) ▼小学生の部優秀賞 平田玲子(倉吉市) 佳作 平田ひろ子(倉吉市)

表彰式は5月21日に行われ、写真コンテスト作品展は5月18日~29日まで開催されました。また、入賞作品は来年開催の「しだれ桜の里まつり」にも展示される予定です。



最優秀賞「佳き日」

編集後記

インターネットの「10~20年後に消える職業」という記事に目が留まり、読んでみました。コンピュータや技術革新により、無くなる仕事として、びっくりするぐらい、沢山の仕事を書いてありました。私はこの予測はかなりの確率で当たるような気がします。なぜなら、私自身の経験でも、技術革新によって「仕事が消えてなくなる」経験をしていたからです。それは、昔、会社が写真のプリントをする部門を持っていた時のことでした。写真のプリントの部門は、大変好調で利益を大きく出していたのですが、急速なデジタルカメラと家庭用プリンターの普及で、需要があつという間に激減し、赤字になり、閉店せざるをえなくなり、まさに仕事が消えてなくなりました。

また、その記事には「2011年度にアメリカの小学校に入学した子供たちの65%は、大学卒業時には、今は存在しない職業に就くだろう」とし、将来、新たな職業が誕生していることも予測しています。

今、自分の子供たちが数年後に就職する時に、どんな仕事に就くのか思いをめぐらせています。親としては、できれば子供たちには「消えてなくなる仕事」について欲しいと願うばかりです。

(U)